

QI 項目の解説

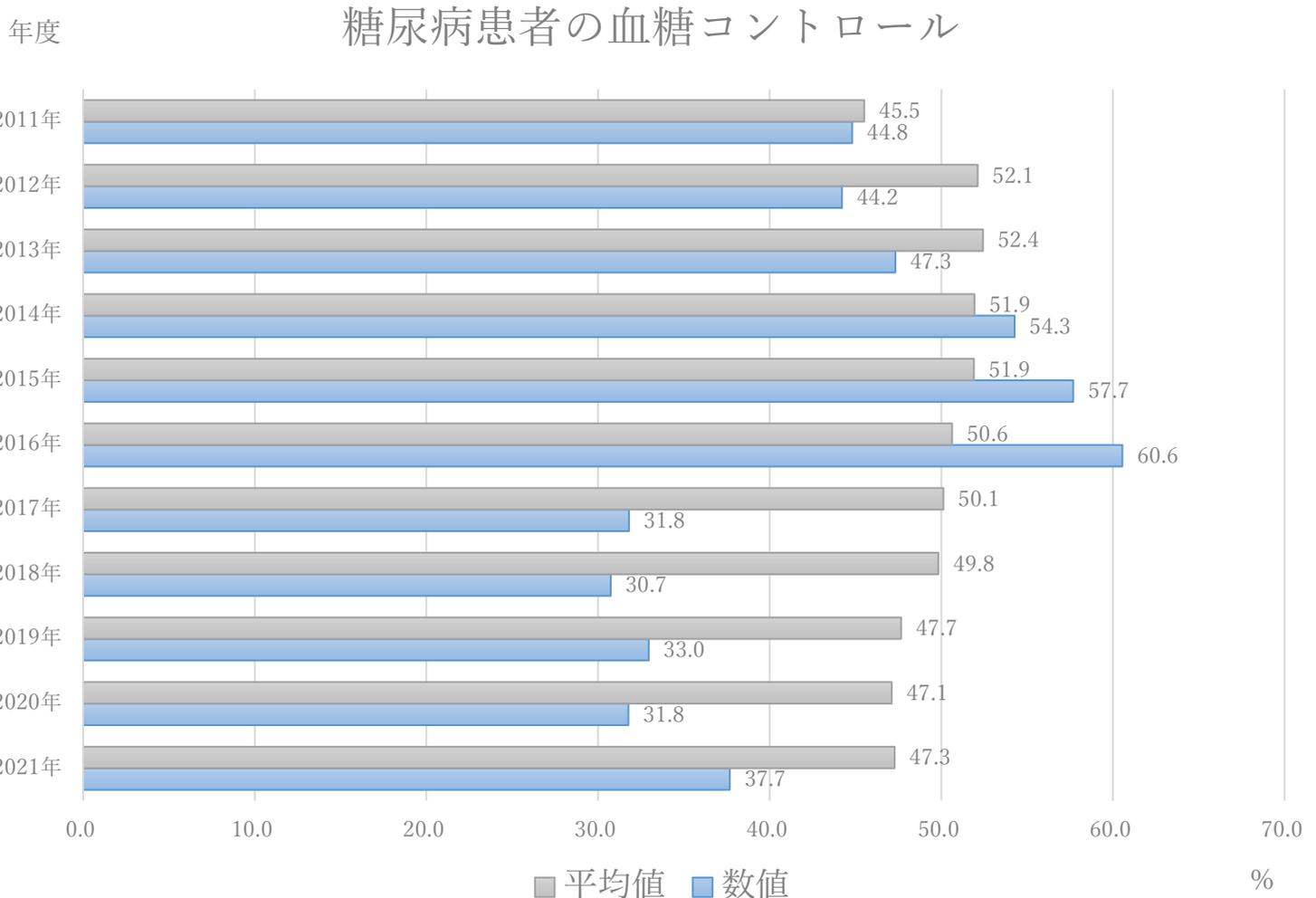
HbA1c『ヘモグロビンエーワンシー』は、血糖値のコントロール状態を示す指標で、糖尿病による合併症を予防するためには、HbA1cを7.0未満に維持することが重要です。HbA1cを7.0未満に維持するためには、処方する薬剤の種類や量を適切に選択することが重要です。本指標では、より高い値が望ましいとされます。

糖尿病患者の血糖値コントロールHbA1c<7.0 割合

QI 指標の定義・計測方法

分子：HbA1cの最終値が7.0未満の外来患者数 $\times 100$ 【%】

分母：糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数



2021 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

全施設平均値と比べ値が低い要因としては、地域連携における循環型診療のため HbA1c <7% の患者さんを積極的に近医へ逆紹介を行い、且つ、近医で HbA1c が高値の患者の当院への紹介を積極的に受け入れているためと考えられます。なお、当院の医療圏における糖尿病患者さんの 85% 程度が近医に通院をしていると推察されます。

2021 当院データと 2020 当院データとの比較・原因分析

2021 年と 2020 年を比較しますと、指標はやや上昇しております。

数値改善に向けた今後の取り組み

上記のように、循環型診療の推進により指標は低値となっておりますが、地域連携の推進を目標としているためとなります。